

それはそれでいいけれど、私の企画をきいてほしい。ズバリ流しソーメンをや
ってほしいがどんなものでしょうか。数人のスタッフにきいたら大賛成がえら
れた。気をよくして所長にだしんしてみた。それはいいね！とひとことあった
が、やるとはいわなかった。企画としてまず実施場所はディの部屋、シローと
がかんがえてはまずいことがおこるだろうからスタッフのいうことには雨どい
をホームセンターで買って組み立てセッティングもトイを支えるのもスタッ
フがやるというのではどんなことになるか心配。トイが外れて水漏れ床上浸水に
なっては困る。ここは有名な設計事務所に依頼して材料から設置の形状など
を決めてもらう。スタッフは10人くらいだろから人手は申し分ないこの条件で
設計してもらう。ソーメンを流す担当者は高所恐怖症ではだめ、とにかく天井
に近い、水はゴムホースで何メートルあればいいか水を1分間に何リットルを
出すか、ソーメンだけでなくエビも流すといい桜エビでは小さ過ぎる、イセエ
ビでは大き過ぎるこの中間がいい。
などそのへんのことを設計してもらおう。

流しそーめん 20/8/6 H.



セキセイインコの飼育は楽しい。24年くらい前から1羽のインコを部屋で飼っていた。言葉を覚えさせたが教えるのがまずいのか、覚えるのがまずいのかあまりしゃべってくれない。手乗りインコにしては1羽で暮らすのはつまらない。遊びあいては人しかいない。これではインコの命をつなぐこともできない。それでは住まいを大きくして複数のインコに共同生活、孤独はなし、民主主義、恋愛は自由ということにしてやったら、私のかぶは、上がるだろう。本当の理由、部屋飼いは、羽はぬける、はばたけばゴミが部屋中に散らばるといことでインコの住まいを庭の隅にすることにした。半畳ばかりの温室ビニールで覆われているので、暑いだろうこれをところどころきりとり窓をつくり風通しを良くして夏には強い日光のために屋根を作った。連中には多分快適だろうと思う。目の細かい網で覆って猫対策。板をわたして憩いの場所、止まり木もつくり、インコの巣となる鳥の巣箱そして数羽のインコも小鳥屋から買ってきた。幾分にぎやかになった。それを期に隣の猫(名はゴロウ)が格好の狩場だとばかり、爪を立てよじ登る。中ではパニック。巣箱にピーピーという声が聞こえる。下からそっと覗く3羽のヒナがいた。お母さんが、お父さんを呼ぶとお父さんがえさの口移し、お母さんはヒナたちに口移し、ヒナたちは目も明いていず、つるつるの肌で立つこともできない。それがたちまち飛び歩くようになる。

セキセイインコ 20/8/9 H

